

指かえる 演じ方 「かえるのがっしょう」

- ① 人形を指にはめて、かえるの黒眼や頭の向きを整えておく。
人形をはめた手を体の後ろに隠し、導入の話をする。
(演じる相手によって、言葉かけを工夫する)

夏になるとたんぽの方から聞こえてくるのは何でしょう。…そう、かえるの声です。

『かえるのがっしょう』 作詞・岡本敏明 ドイツ民謡

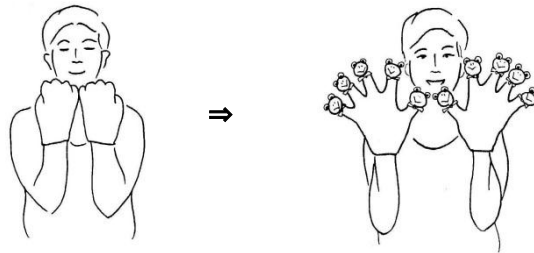
かえるの うたが きこえて くるよ

クワ クワ クワ クワ ケケケケケケケケ クワ クワ クワ

- ② かえるを後ろ向きにして指を前に倒し、手の甲を正面に向けて胸の前に構える。

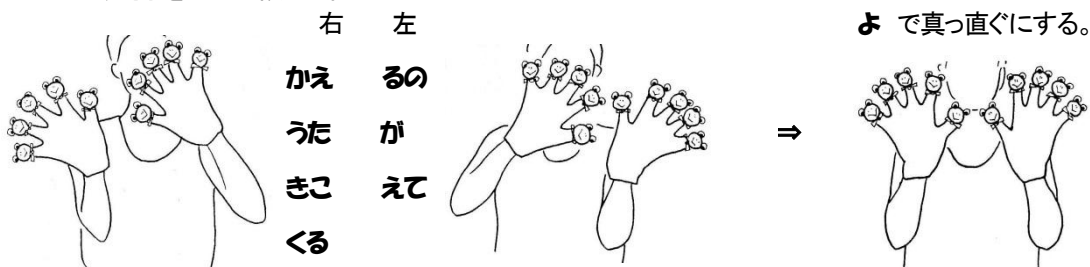
ゲロ ゲロ ゲロ ゲロ

前に向け手を広げる。クワッ

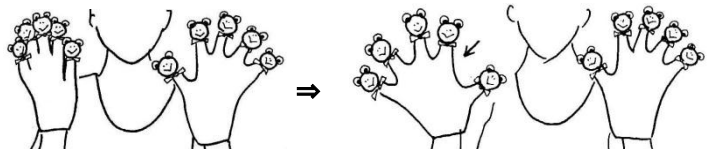


- ③ 小さなかえるたちと「かえるのがっしょう」を歌いましょう。

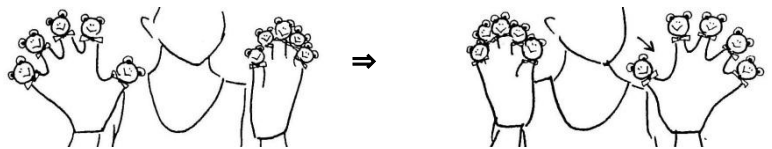
- ④ 歌いながら、両手を左右に傾ける。



- ⑤ 右手を体に引き寄せ、右手の指を揃える。
※指をすぼめてしまわないよう注意。
クワッ
右手の指を広げながら手を前に押し出して止める。



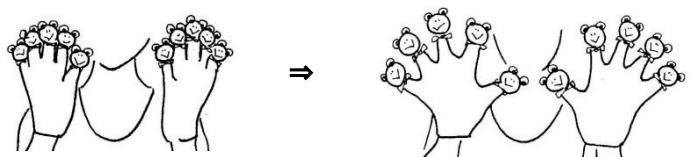
- ⑥ 左手を体に引き寄せ、左手の指を揃える。
クワッ
左手の指を広げながら手を前に押し出して止める。
※動きにめりはりをつけること。



- ⑦ ⑤・⑥をくり返す。クワッ クワッ

- ⑧ 両手を右に傾ける。ケ ケ ケ ケ 左に傾ける。ケ ケ ケ ケ (④と同様)

- ⑨ 両手を体に引き寄せ、指を揃える。
クワッ
両手の指を広げながら手を前に押し出して止める。



- ⑩ ⑨を2回くり返す。クワッ クワッ

指かえる 演じ方「いなかのおじさん」

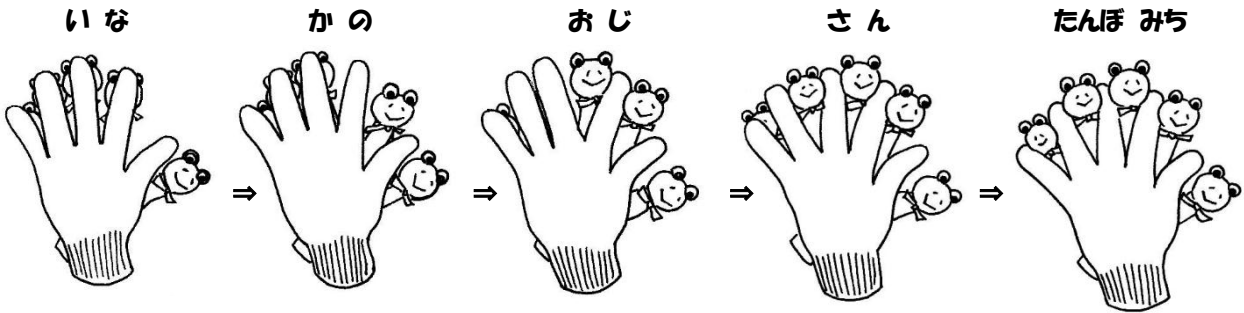
- ① 人形を右手にはめ、左手には茶色の軍手をはめる。かえるの黒眼や頭の向きを整えておく。右手の人形を隠すように左手を添える。



『いなかのおじさん』 わらべうた



- ② 親指のかえるから順に顔を出す。

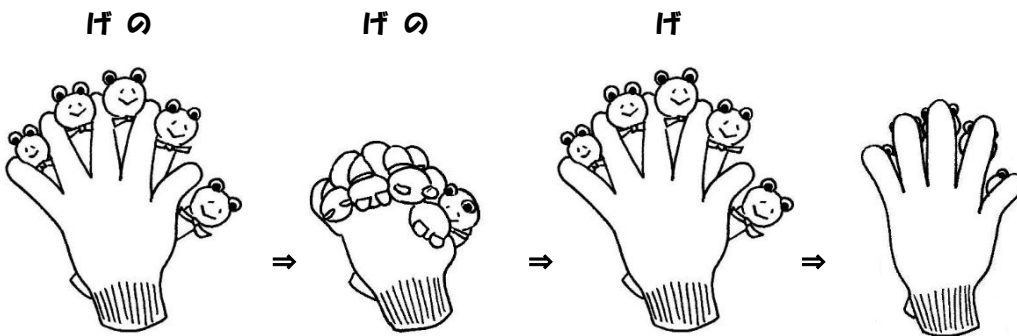


- ③ 両手を小指側に傾けて、戻す。

- ④ 両手の指を倒す。



- ⑤ げの で指を伸ばし、次の げの で指を倒し、げ で指を伸ばしたら、休符で①に戻る。



※ おじさんの部分を おばさんやパン屋さん、○○ちゃんなどに変えて楽しむこともできます。